

R7年9月 ばら組ドキュメンテーション「かんぱーい！」

ある日お茶を飲む際に、Aちゃんが水筒を持って「かんぱーい！」と言ってB君と乾杯をしていた。



別の日にも、B君やC君と乾杯をしてからお茶を飲んでいた。



☆考察☆

- ・はじめは水分補給を嫌がる子を誘う際に、保育者が「乾杯しよう？」と声を掛けたことがきっかけだった。その後しばらくは保育者とのみ行うことが多かったAちゃん。しかし今回は、自ら友達の近くに来て乾杯を楽しんでいた。最近の1歳児クラスは、積極的に友達と関わろうとすることが増えてきた。今回もその一場面である。
- ・周囲との関わりが増えることで、まだ上手く意思表示ができない子どもたち同士でのトラブルが増えることも予想される。そのため「友達と遊びたい」等の気持ちを尊重しつつ、時には保育者が気持ちを代弁することで上手く周囲と関わるようになっていきたい。